



207

この記事がすごい！ 毎日新聞今週のこだわり4本

2024年4月21日号

編集／毎日新聞社カスタマーリレーション本部

震災復興に尽力 在日コリアンの生涯

21日(日)＝1、3面



迫る

巨大地震が続く日本。1995年1月の阪神大震災では、高速道路が根元からなぎ倒されるなど、インフラに甚大な被害が出ました。コンクリートのガレキが大量に発生し撤去せねばならなくなったのですが、その膨大なコンクリートの破碎作業にあたったのが、在日コリアンの金禮坤（キム・イエ

ゴン）さん＝写真＝の採石会社でした。金さんは「地震が日本人も在日も関係なく襲ったように、復旧復興にもともに働き、貢献してきた。そんな自負がある」と語ります。復興には、こうした金さんたちが在日コリアンたちの力が不可欠でした。

かつて朝鮮半島が日本の植民地だった時代から、

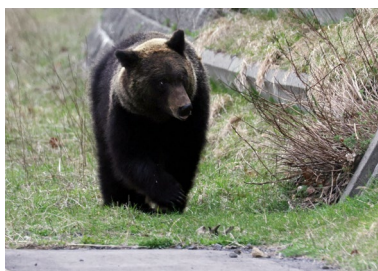
日本の産業発展の陰には朝鮮半島の人々の力があつた——。そんな忘れてはならない視点を教えてくれます。金さんは大学の教員なども務めた経験があり、齢90を超えました。体の自由がままならぬ日々ですが、能登半島地震など震災が続く今何を思うのか。金さんの生涯に迫ります。



クマ被害拡大 「指定管理鳥獣」に

21日(日)＝総合面

2023年度はクマに襲われてけがなどをした人が過去最悪の219人に上りました。今年も目撃情報が例年にないペースで増えています＝写真＝。近年クマの生息域は広がっています。捕獲を支援するため、国はクマを「指定管理鳥獣」に追加しました。対策はどのように進むのでしょうか。個人でできる対策も含め、人間とクマが共存していく方策を探ります。



そこ が聞きたい

「老化を防ぐ」とうたうサプリメントが流行し、老化に由来する技術に、かつてないほど注目が集まっています。老化にかかわる物質や仕組みを次々に明らかにし、世界の老化研究をけん引する

人類は「老化」を制御できるのか

21日(日)＝くらしナビ面

今井真一郎・米ワシントン大卓越教授は「老化を制御できる日は近い」と断言しますが、抗老化ブームの過熱ぶりには懸念も示しています。その真意はどこにあるのでしょうか。

特集 ワイド

塩村文夏さんに聞く「裏金事件」

22日(月)＝夕刊2面

「モラルの面でも、人権感覚の面でも、政界の取り組みが一番遅れていると感じます」。派閥の裏金事件で根強い金権体質が明らかになった自民党と向き合う、立憲民主党参院議員の塩村文夏さん（45）＝写真＝は嘆いています。東京都議時代に「セクハラヤジ」を浴び、女性蔑視の風潮を改善するきっかけになった「あの人」です。「政治とカネ」を巡る問題について語っていただきました。



将棋の第82期名人戦が始まりました。第1局は大熱戦の末に藤井聡太名人が豊島将之九段を降し、23・24日には第2局があります。名人戦を主催する毎日新聞社は、直後の26日に今後は占うオンラインイベントを開催します。開幕局の副立会を務めた中村太地八段とYonkersでも人気の香川愛生女流四段が第2局までを振り返りつつ、七番勝負の行方を展望します。ぜひご覧ください。（坂井友子）



毎日新聞